

令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	英語	ベーシック英語	1	1	必修	秋田・山岸・牧
使用教科書			副教材等			
"英語がわかる!自己表現お助けブック 改訂版(教育出版)"			①英和辞典(形式は問わない)			

【 科目のねらい 】

- (1) 中学校段階で学んだ英語に関する基礎知識の確認と定着を図る。  
(2) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡単に話し合ったり意見の交換をすることができる。  
(3) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す 資質・ 能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な知識・技能</li> <li>●情報活用力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーション力</li> <li>●課題設定・解決力</li> <li>●批判的思考力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解・成長力</li> <li>●他者とチームで活動する力</li> <li>●組織に求められる人間性</li> </ul>
A	各文法項目や単語の意味を深く理解し、教師の手助けなしに活用することができる。 教師の手助けや辞書を使うことなく、英語を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通して他者と積極的に英語でのコミュニケーションを行うとともに、英語でのコミュニケーションにおける自身の課題を見出し、言語活動を通して解決に繋げることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、教師の手助けなしに論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えることができる。 活動の中で主体的に行動し、集団で学びを深める際の模範として考え、行動することができる。
B	各文法事項の機能や語順、単語の意味等を理解し、教師の助けを得ながら活用することができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、英語でのコミュニケーションを図ろうとすることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えている。 活動の中で自分の役割を意識し、集団で学びを深める主体者としての意識を持つことができる。
C	教師や周囲の助けを借りながら、各文法事項や語順、単語の意味を理解しようとするすることができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することの大切さを認識することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションを取ることの大切さを認識することができる。	事実や意見を理解し、英語を使って自分が思ったことを表現することができる。 活動の中で周囲の動きを見ながら、自分がすべき活動を見出すことができる。
具体的 な評価 方法	(1) パフォーマンステスト (2) 小テスト (3) 中テスト	(1) パフォーマンステスト (2) 小テスト (3) 中テスト	(1) 授業参加 (2) 提出物
割合	35%	35%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	(1) 文法解説→問題演習→言語活動を1単元の基本的な流れとします。 (2) 各ユニットの活動で文章要約やエッセイライティング、パフォーマンステストのいずれかを行います。
学びの留意点	(1) 定期考査の時期に小テスト、もしくは中テストを課します。 (2) 提出物の不備や未提出、に関しては評価が大きく下がります。 (3) 各ユニットの活動で文章要約やエッセイライティング、パフォーマンステストのいずれかを行います。
主体的な学びの進め方	(予習) ・意味や発音の分からない単語について事前に調べておく。 (復習) ・与えられた課題に取り組む。
備考	この授業では、中学校段階の学習内容の中で、特に定着してほしい項目について学び直しを行うものです。そのため、皆さんの基本的な英語の力が大切になります。「覚えること」「使えること」を意識しながら学びを深めていきましょう。



令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	英語	コミュニケーション英語 I	3	I	必修	秋田・山岸・牧
使用教科書			副教材等			
"Revised COMET-English Communication I (数研出版)"			①英和辞典(形式は問わない) ②フェイスリットコーパス3000(東京書籍) ③改訂版 英語がわかる!自己表現お助けブック			

【 科目のねらい 】

- (1) 英語を通じて他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。  
(2) 言語文化に対する知識・理解を深め、英語でアイデアを表現できるようになる。  
(3) 英語圏の文化に触れることで、国際社会と自己との関わり方を身に付ける。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す 資質・能力	●基礎的な知識・技能 ●情報活用力	●コミュニケーション力 ●課題設定・解決力 ●批判的思考力	●自己理解・成長力 ●他者とチームで活動する力 ●組織に求められる人間性
A	各文法項目や単語の意味を深く理解し、教師の手助けなしに活用することができる。 教師の手助けや辞書を使うことなく、英語を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通して他者と積極的に英語でのコミュニケーションを行うとともに、英語でのコミュニケーションにおける自身の課題を見出し、言語活動を通して解決に繋げることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、教師の手助けなしに論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えることができる。 活動の中で主体的に行動し、集団で学びを深める際の模範として考え、行動することができる。
B	各文法事項の機能や語順、単語の意味等を理解し、教師の助けを得ながら活用することができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、英語でのコミュニケーションを図ろうとすることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えている。 活動の中で自分の役割を意識し、集団で学びを深める主体者としての意識を持つことができる。
C	教師や周囲の助けを借りながら、各文法事項や語順、単語の意味を理解しようとするすることができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することの大切さを認識することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションを取ることの大切さを認識することができる。	事実や意見を理解し、英語を使って自分が思ったことを表現することができる。 活動の中で周囲の動きを見ながら、自分がすべき活動を見出すことができる。
具体的な 評価方法	(1) パフォーマンステスト (2) 小テストや単元テストなど (3) 定期考査	(1) パフォーマンステスト (2) 小テストや単元テストなど (3) 定期考査	(1) 授業参加 (2) 提出物
割合	35%	35%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	(1) 本文読解、文法解説・問題演習、言語活動を1単元の基本的な流れとします。 (2) 定期的に単語テスト(コーパス3000より)やセクションごとの小テスト、単元テストなどを実施します。
学びの留意点	(1) 定期考査では授業で学習した内容からほとんど出題しますので、授業で使用したプリントはきちんとファイルに挟んでおきましょう。 (2) 英和辞書を使用します。どんなものでも構いませんので持参してください。 (3) コーパス3000も持参しましょう。授業の中で一斉に使用することはめったにありませんが、授業中の作業が早く終わった際や自習など、頻繁にコーパス3000を開く習慣をつけましょう。
主体的な学びの進め方	(予習) ・教科書を音読し、意味や発音の分からない単語について事前に調べておく。 (復習) ・教科書の音読や意味の確認。文法の演習。
備考	「コミュニケーション英語」ですので、相手に伝えるため、また、相手から受け取るために、英語を読む・書く・聞く・話すスキルを身につけます。もちろん、正確に行えたらベストですが、「完璧じゃないから」「間違ったら恥ずかしいから」などといった理由でトライしなくなることが1番のNGです。繰り返しになりますが「コミュニケーション英語」ですので、不完全でも相手に伝えられたらOKです!積極的な姿勢を大切にしましょう!

【年間計画】(いつ何を学ぶか)

月	考査 範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点		
						①	②	③
4	前期	オリエンテーション	学習内容・評価規準等の説明	学習内容や評価の観点について理解できる。	1			○
		Introduction Get Ready	アルファベット 基本的な単語 自己紹介、友達への質問	授業に必要な基本的な単語や語句について理解できる。 クラス内で自己紹介をすることができる。また、相手の発話に対してあいづちを打ったり、質問したりすることができる。	4	○		○
		Lesson 1 “Why Do You Study English?”	現在形、過去形	現在形と過去形を用いて、正しい文を書くことができる。 英語を学ぶ理由について、簡単な英語で発表し、互いに聞き取ることができる。 日常生活で見聞きする英語表現について、その意味や役割を知っている。	8	○		○
5	中間	Activity 1 My Treasure	音読演習	アクセントや意味上の区切りを意識して音読ができる。	2	○		
		Lesson 2 “Washoku:Our Traditional Food”	助動詞	助動詞can/may/mustを使って正しい文を書くことができる。 和食の主な特徴について理解し、自分の意見を簡潔に話すことが「～ませんか」という表現を活用し、ペアで積極的に会話をすることができる。	9	○		○
		Activity 2 My Treasure	自分と自分の宝物の紹介	主に現在形、過去形、助動詞を用いて、自分や自分の宝物についてスピーチすることができる。	3		○	○
6	前期	前期中間考査						
7	中期	Lesson 3 “What Should I Do?”	進行形	進行形を用いて、進行中の動作を伝えることができる。 本文を読解し、Ryotaの悩みの内容について理解できる。	8	○		○
		Lesson 4 “My School, Your School”	不定詞	不定詞の用法の違いについて理解し、それぞれの用法について作文ができる。 日本の学校と世界の学校がどのように異なっているかを読み取り、情報をまとめることができる。	8	○		○
8	末	Lesson 5 “Peace, the Polar Bear”	動名詞	動名詞の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 本文を読解し、登場人物の苦労や自然環境について理解できる。	8	○		○
9	“Could you～?”の表現を活用し、場面にあったやりとりをすることができる。					○	○	
10	後	前期期末考査						
11	中期	Lesson6 “Flying Wheelchairs”	現在完了形	現在完了形の用法の違いについて理解し、それぞれの用法について作文ができる。 本文を読解し、「空飛ぶ車いす」の活動の概要について理解できる。 異文化や国際ボランティア活動への理解を深め、多様な価値観を認め、他のために主体的に行動することができる。	12	○		○
		Lesson 9 “Malala Yousafzai: Education Can Change the World”	比較	比較級と最上級について学び、それらを用いて正しい文を書くことができる。 本文の読解を通して、マララさんの身に起こったことや、彼女の考えを理解できる。 テーマについてグループで意見を発表し、それに対して英語で質問や反論をすることができる。	8	○		○
12	後	後期中間考査						
1	後	Lesson 10 “Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles”	関係代名詞	関係代名詞のはたらきを学び、その構造に気をつけながら正しい文を書くことができる。 本文の読解を通して、カップラーメンがどのように発明されたか理解できる。 グループで食や発明をテーマとしたプレゼンテーションができる。	18	○		○
		Lesson 7 “Moving As One”	受動態	受け身の表現について学習し、身近な事柄について受動態を用いて説明することができる。 説明文を読む活動を通して、段落ごとの要点をまとめることができる。 鳥や魚の群れの行動ルールがどのような分野に応用されているかについてグループで討論することができる。	8	○		○
3	後	後期期末考査						
		Lesson 8 “Convenience Stores: the Keys to Their	分詞	分詞による修飾方法を学び、それらを用いて正しい文を書くことができる。 本文の読解を行い、コンビニエンスストアの工夫について理解することができる。	8	○		○

令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	英語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	必修	秋田・山岸・牧
使用教科書			副教材等			
Revised COMET-English Communication II (数研出版)			①英和辞典(形式は問わない) ②フェイバリットコーパス3000(東京書籍)			

【科目のねらい】

- (1) 文章の読解を通じて、要点を理解しながらまとめる能力を高める  
(2) 英語という言語についての知識・理解を深め、英語で感想や意見を表現する能力を高める  
(3) 言語活動を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を身につける

【評価の観点】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な知識・技能</li> <li>●情報活用能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーション力</li> <li>●課題設定・解決力</li> <li>●批判的思考力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解・成長力</li> <li>●他者とチームで活動する力</li> <li>●組織に求められる人間性</li> </ul>
A	各文法項目や単語の意味を深く理解し、教師の手助けなしに活用することができる。 教師の手助けや辞書を使うことなく、英語を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通して他者と積極的に英語でのコミュニケーションを行うとともに、英語でのコミュニケーションにおける自身の課題を見出し、言語活動を通して解決に繋げることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、教師の手助けなしに論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えることができる。 活動の中で主体的に行動し、集団で学びを深める際の模範として考え、行動することができる。
B	各文法事項の機能や語順、単語の意味等を理解し、教師の助けを得ながら活用することができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、英語でのコミュニケーションを図ることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えている。 活動の中で自分の役割を意識し、集団で学びを深める主体者としての意識を持つことができる。
C	教師や周囲の助けを借りながら、各文法事項や語順、単語の意味を理解しようとするすることができる。 読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することの大切さを認識することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションを取ることの大切さを認識することができる。	事実や意見を理解し、英語を使って自分が思ったことを表現することができる。 活動の中で周囲の動きを見ながら、自分がすべき活動を見出すことができる。
具体的な評価方法	(1)リスニングテスト(定期考査)リーディングテスト(定期考査)などで複数回測定 (2) Chrome bookを使った検索、まとめなどの活動・提出物 (3) リテラテスト、エッセイライティング、スピーチテスト、インタビューテスト、週末課題、などの小テスト	(1) 人々の動作やその状況を描写することができる (2) 身近なことや教科書の内容について60語以上で意見・感想を根拠のある理由とともに書くことができる (3) 身近なことや教科書の内容について1分程度自分の考え(賛成・反対・感想等)とその理由を話すことができる (4) グループワーク、ディスカッションなどでの相手の考えに対し、賛成・反対・意見し、その理由を説明することができる	(1) 既習事項を活用し、ペアワーク、グループワークの際に主体的に自らの意見を述べるができる (2) 他者と協働し、見学旅行で学んだことについて、5分程度のプレゼンテーションすることができる (3) プレゼンテーションの質疑応答において適切にこたえることができる (5) パワーポイントや、ポスター、Google Class Roomを活用した制作物
割合	35%	35%	30%

【学びの方法】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	(1) 言語活動を中心に問題演習、本文理解を進める (2) プリントの音読を様々な方法で繰り返すことで正しい発音、学習した表現を身につける (3) 与えられた問いに対し、自らの意見や、考え方を持ち、発言するよう心がける (4) Google Class Room上で与えられた課題、動画を授業前に必ず確認して授業に臨む (5) 定期的に単語テスト(コーパス3000より)やセクションごとの小テスト、単元テストなどを実施
学びの留意点	(1) 会話、発話練習が中心となるため、話を聞くとき、ペアやグループで話をするときのメリハリをつける (2) 正解不正解にとらわれず、自らの意見や考え方を持つ、相手の意見をよく聞き、自らの考え方に取り込む、または反論をする姿勢を持つ (3) 定期考査のために授業で使用したプリントはきちんとファイルに挟んでおく (4) 英和辞書を使用します。どんなものでも構いませんので持参しましょう
主体的な学びの進め方	(予習) ・教科書の学習事項については事前に調べておく ・様々な分野において情報を収集する習慣をつけ、テーマに関し自ら意見を持つよう心がける (復習) ・毎日少しずつ単語だけではなく、英語の音声、文章に触れること ・様々な分野において情報を収集する習慣をつけ、テーマに関し自ら意見を持つよう心がける
備考	・英語で相手に意思を伝える・相手と意見のやり取りをすることが目標です。そのために読む・書く・聞く・話す・やり取りをするスキルを身につけていきます ・文法事項を詳しく学習し、覚えるよりも、会話をし、何度も読むことで単語を覚え、英語の正しい発音、使い方を学んでいきます ・「完璧じゃないから」「間違ったら恥ずかしいから」などといった理由でトライしないのではなく、不完全でも相手に伝えることができるのが最初のステップです。どんどんチャレンジしていきましょう。 ・言語学習は積み重ねることで身につきます。短時間でも毎日触れることが重要です ・Google Class Roomを活用し、ライティングテスト、レポート提出などを実施する予定ですので通知は切らないでください

【年間計画】(いつ何を学ぶか)

月	考查範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点		
						①	②	③
4	前期中	オリエンテーション	学習内容・評価規準等の説明	評価の観点について理解する。	1			
		Lesson1 Staying in Space	本文の学習 that-節の学習 インタビューテスト/スピーキングテスト	宇宙での食事や体の変化に関する本文を読み、それぞれの変化の内容や理由について理解できる。 既習の文法事項やLesson1の内容について簡単な問いに答えることができる。 キーワードをもとに本文の内容を説明することができる	11	○		○
		Lesson2 Doraemon in the U.S.	本文の学習 wantなど+(人)+to-不定詞 グループワーク	アニメ『ドラえもん』の日米での違いに関する本文を読み、日本のアニメやマンガが世界に広がっていることや、国によって文化や慣習に違いがあることを理解できる。 好きなアニメや漫画のキャラクターについて、既習の文法事項を用いて1~2分程度のプレゼンテーションができる。	10	○		○
5	間	Lesson3 Farm in the Sky	本文の学習 疑問詞+to-不定詞 インタビューテスト	シンガポールの垂直農場に関する文章を読み、その特徴や利点を読み取ることができる。 疑問詞+to-不定詞の基本的な用法について理解し、空所補充や並び替えといった問題に解答することができる。 本文の内容やそれに関する映像についての問いに英語で答えることができる。 本文の内容やそれに関する問いに対し40語程度で自らの考えを述べる	10	○		○
								○
前期中間考查					1	○		
6	前期	Lesson4 Goal Setting	本文の学習 分詞構文(同時・時・理由) スピーチ	目標設定に関する本文を読み、目標に向かって努力することの重要性や、効果的な目標の立て方について理解する。 分詞構文の基本的な意味や用法について理解し、問題演習において日本語の意味を判別することができる。 本文で学習したルールを応用して、自分の将来の夢について60語程度のスピーチを考え、発表することができる。 相手のスピーチを聞いて、英語で質問することができ、自らの考えを述べる	16	○		○
		Lesson5 The High School Student Restaurant	本文の学習(part2-3) 形式主語のit インタビューテスト・スピーキングテスト	高校生レストラン「まごの店」で働く生徒の日記を読み、彼女が働きながら何を感じ、学んだかについて理解する。 本文の内容や既習の文法事項についての問いに答えることができる。 本文の内容をもとに自らの将来の夢を相手に説明できる	11	○		○
8	末期	Lesson7 "Fuji, a Dolphin With a New Fin"	本文の学習 過去完了形 インタビューテスト	イルカのフジや、フジを助けようとした人々に関する本文を読み、フジの身にどのようなことが起こったかについて理解できる。 使役動詞の用法や意味を理解し、問題演習において適切な動詞を選択できる。 本文に関連する内容の英文を読み、1~2分程度英語で自らの意見や感想を述べる	12	○		○
								○
前期期末考查					1	○		
9	後期中間考查	Lesson9 Changing Feelings	本文の学習 関係代名詞の継続用法の学習 インタビューテスト	気分を変える方法について書かれた文章を読み、気分転換のための要点を理解することができる。 関係代名詞の継続用法について学び、日本語の意味から継続用法を用いるか否か判断することができる。 自分の気分転換の方法を1分程度で相手に説明し、その理由を説明することができる	17	○		○
		Lesson10 Ban Shigeru, Architect of Paper	本文の学習 関係副詞の学習 スピーキングテスト	建築家、坂茂さんについての経歴や文章を読み、彼の考えや職業観に触れ、自分の職業観について考え、書き出すことができる。 関係副詞について学び、身近な話題について関係副詞を使った短い英作文をすることができる。 本文の内容や既習事項に関し、2分程度の質疑応答ができる。	12	○		○
後期中間考查					1	○		
11	後期	Lesson8 Do We Need That?	本文の学習 使役動詞の学習 グループワーク	「ムダ」について書かれた文章を読み、本文の内容について学習することで自分の身の回りのムダについて考え、書き出すことができる。 使役動詞の用法や意味を理解し、ペアで会話することができる。また、問題演習において適切な動詞を選択できる。 自分たちの身の回りの「ムダ」について調べ、グループ内でまとめることができる。 あらかじめ準備をして与えられたテーマに関するプレゼンテーションができる	21	○		○
								○
12	末期	Lesson12 From Small Factories to the World	Lesson12本文の学習 仮定法過去、仮定法過去完了 プレゼンテーション	ものづくりに関する文章を読み、内容について理解する。 仮定法のつくりについて学び、身近な話題についてペアで情報交換ができる。 あまり知られていない世界で有名な日本の商品について2~3分程度のプレゼンテーションができる	12	○		○
		Lesson11 Win for Our Nation	インタビューテスト	本文の内容を含んだ社会的な話題について自分の意見を述べ、2分程度の会話ができる。	3		○	
後期期末考查					1	○		
3		まとめ	まとめ	1年間の学習のまとめと、次年度に学習する内容の確認をする。	1	○		

令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
	英語	英語表現 I	3	3	必修	秋田・山岸・牧
使用教科書			副教材等			
"SELECT English Expression-New Edition-(三省堂)"			①英和辞典(形式は問わない) ②フェイバリットコーパス3000(東京書籍) ③改訂版 英語がわかる!自己表現お助けブック			

【 科目のねらい 】

- (1) 英語を通じて他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。  
(2) 言語文化に対する知識・理解を深め、英語でアイデアを表現できるようになる。  
(3) 英語圏の文化に触れることで、国際社会と自己との関わり方を身に付ける。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎的な知識・技能</li> <li>●情報活用力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーション力</li> <li>●課題設定・解決力</li> <li>●批判的思考力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解・成長力</li> <li>●他者とチームで活動する力</li> <li>●組織に求められる人間性</li> </ul>
A	各文法項目や単語の意味を深く理解し、教師の手助けなしに活用することができる。	書く、または話す活動を通して他者と積極的に英語でのコミュニケーションを行うとともに、英語でのコミュニケーションにおける自身の課題を見出し、言語活動を通して解決に繋げることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、教師の手助けなしに論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えることができる。  活動の中で主体的に行動し、集団で学びを深める際の模範として考え、行動することができる。
	各文法事項の機能や語順、単語の意味等を理解し、教師の助けを得ながら活用することができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、英語でのコミュニケーションを図ることができる。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を使って伝えている。  活動の中で自分の役割を意識し、集団で学びを深める主体者としての意識を持つことができる。
	教師や周囲の助けを借りながら、各文法事項や語順、単語の意味を理解しようすることができる。	書く、または話す活動を通してコミュニケーションを取ることの大切さを認識することができる。	事実や意見を理解し、英語を使って自分が思ったことを表現することができる。  活動の中で周囲の動きを見ながら、自分がすべき活動を見出すことができる。
B	読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することができる。		
	教師や周囲の助けを借りながら、各文法事項や語順、単語の意味を理解しようすることができる。		
	読む、または聞く活動を通して他者の考えを理解することの大切さを認識することができる。		
具体的な評価方法	(1) パフォーマンステスト (2) 小テスト (3) 定期考査	(1) パフォーマンステスト (2) 小テスト (3) 定期考査	(1) 授業参加 (2) 提出物
割合	35%	35%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	(1) 文法に関する学習→問題演習→言語活動を1単元の基本的な流れとします。 (2) 自由英作文やスピーキングテストの課題を課すことがあります。 (3) 週に1回、単語テストを実施します。
学びの留意点	(1) 定期考査では、自由英作文の問題を最低1題出題します。 (2) 英和辞書を使用します。どんなものでも構いませんので持参してください。 (3) 「コーパス3000」「自己表現お助けブック」を毎回持参すること。
主体的な学びの進め方	(予習) ・意味や発音の分からない単語について事前に調べておく。 (復習) ・与えられた課題に取り組む。
備考	この科目では、基本的な文法知識の定着を目標とし、最終的には自分の考えを英語で書き、それをより説得力のある形で発表・説明できるように繰り返し練習を行います。皆さんには、間違いを恐れずに英語でコミュニケーションを取ろうとする姿勢が大切です。また、英語で活動を行うためには「語彙」を欠かすことができません。発音や意味の分からない単語については必ず辞書等を用いて調べ、自分のボキャブラリーを増やすよう心がけてください。

【年間計画】(いつ何を学ぶか)

月	考查範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点		
						①	②	③
4	前期	オリエンテーション	学習内容・評価規準等の説明	学習内容や評価の観点について理解できる。	1			○
		Lesson1 自己紹介	be動詞/一般動詞	問題演習を行い、be動詞と一般動詞の使われ方の差異に気付くことができる。 自己紹介に対して、あらかじめ用意した質問をすることができる。	6	○		○
		Lesson2 世界の食文化	過去形:be動詞/一般動詞	自分の生活に関わる作文を通して、現在形と過去形の使われ方の違いを理解することができる。 グループで食文化の相違について調べ、話すことができる。	6	○		○
5	中間	Lesson3 スポーツ	現在進行形/過去進行形	問題演習と自由英作文を通して、現在・過去進行形のニュアンスを理解し、活用することができる。	6	○	○	○
		Lesson4 旅行	未来表現:will / be going to	問題演習を通して、未来を表す表現の作り方が理解できる。 過去・現在・未来に関する20語程度の作文を行い、辞書等を使って自分の考えを表現できる。	6		○	○
6	前期	前期中間考査						
		Lesson7 環境	助動詞:can / may	問題演習を通して、助動詞の使い方を理解できる。	6	○	○	○
		Lesson8 国際社会	助動詞:must/have to/should	身の回りの問題について、既習の文法事項を用いて表現することができる。	6	○	○	○
7	後期	Lesson5 芸能	現在完了形 継続・経験	問題演習を通して、過去形と現在完了の違いを理解できる。	6	○	○	○
		Lesson6 日本文化	現在完了形 完了/現在完了進行形	問題演習を通して、現在完了進行形の機能を理解できる。 日本文化について学習を深め、現在完了もしくは現在完了進行形を利用した文章を作ることができる。	6	○		○
8	後期	Lesson11 自然科学	動名詞	動名詞と不定詞の違いについて学び、問題演習において使い分けることができる。	6	○	○	○
		前期期末考査						
9	後期	Lesson9 生き物	不定詞: 副詞的用法/名詞的用法	問題演習を通して、不定詞のそれぞれの用法について理解できる。	6	○	○	○
		Lesson10 生き方	不定詞: 形容詞的用法/It~(for-)to ...	It~(for-)to...の表現について学習し、与えられたテーマについて30語程度の作文を行うことができる。	6	○	○	○
		Lesson12 芸術	受動態	問題演習を通して受動態の作り方を理解できる。 自分の好きなマンガやアニメについて受動態を用いて説明できる。	6		○	○
10	中間	後期中間考査						
		Lesson13 外国語・ことば	分詞: 現在分詞/過去分詞	現在分詞・過去分詞についての問題演習を通して、修飾の仕方が理解できる。	6	○	○	○
		Lesson14 ご当地	関係代名詞①: that/ who / which	関係代名詞を使って、自分の身の回りの事物について説明を加えることができる。 関係代名詞を使った文章を読み、質問に答えることができる。	8	○		○
11	後期	Lesson15 活躍する高校生	関係代名詞②:what 関係副詞: where/when/why	問題演習を通して、関係代名詞、関係副詞の使い方が理解できる。	6	○	○	○
		卒業考査						
12	末期	Lesson16 地理	分詞: 現在分詞/過去分詞	比較級/最上級の使い方を理解し、文中でそれらを使うことができる。 グループでデータの比較を行い、比較表現を用いて話すことができる。	6	○		○